

「米子市における取組」

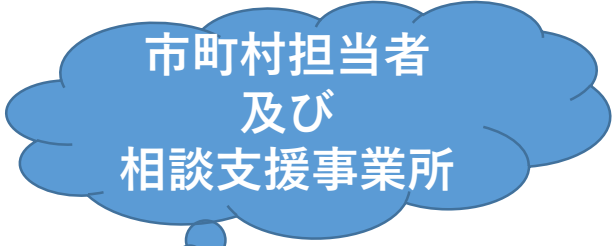
②退院可能者への病院訪問を通して支援を考える

米子市福祉保健部障がい者支援課
精神保健福祉士 三宅英行

精神障害者にも対応した地域包括 ケアシステム構築推進（構築支援）事業を通して

◇H29年度～ （取り組み協議を含めて）※県西部圏域

- ・協議の場（コアメンバー会議、地域移行連絡会、推進会議）



市町村担当者
及び
相談支援事業所

- ・長期入院者への地域支援者訪問
（1年以上の長期入院者）＋（長期入院になる恐れがある者）
- ・地域交流会（いろどり会）の開催

地域支援者訪問

◇精神保健福祉資料（630調査）を通して

- ・ 以前は、退院可能な長期入院者の数だけあがっていた
- ・ 退院意欲喚起・退院支援が精神科病院任せになっていた

◇地域交流会（いろどり会）を経て

◇医療機関・相談支援事業所からの個別相談

⇒地域支援者を交えて地域全体で関わる・取り組む
訪問に際して、同意を得られた方へ訪問

地域支援者訪問

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (5月時点)
対象入院者	4名	7名	4名	4名	1名
対応保留など	2名	1名	1名	1名	0名
退院者	1名	2名	1名	1名	0名

対象：圏域4精神科医療機関

令和3年5月時点：9名（+対応保留5名）

地域交流会（いろどり会） 5回/年

対象者：1年以上の長期入院者で病状安定している方、その家族
（病院職員の同行）

圏域：4精神科医療機関

参加支援者：保健所職員（企画、当日進行など運営の中心）
市町村担当者、相談支援専門員、当事者サポーター
ボランティア など

参加者数（1回あたり）：20名前後



「いろどり会」ってなに？

定期的に病院から出かけて、地域の支援者や仲間とともに、退院後の「働く場所」「住む場所」「活動の場所」などを見学し、交流を行っています。

会の名前は“ひとりとして同じ色のない仲間が集まり、お互いの人生をいろどるきっかけの会となりますように”という願いが込められています。



令和元年度の活動内容

- 6月 ショートステイ翼、スポーツジムCHAX
養和病院精神科デイケアたんぽぽ
就労支援施設あんず・あぷりこの見学
- 8月 当事者サポーターの日常のお話
相談支援事業所のお話
- 11月 米子市立図書館利用方法の説明と見学
米子市役所の見学
- 12月 米子市デイケアへ参加
- 2月 退院後利用できるサービスのお話、サービスを選んでみよう（感染症流行につき中止）
-
-



令和元年度の活動の様子

令和年度のいそどり会は、当事者延べ23名、当事者サポーター延べ10名、地域移行ボランティア延べ9名など、総勢延べ88名が参加し、一緒に施設見学に行ったり、地域で生活する仲間のお話を聞いたり、市町村のデイケアに参加したり、和気あいあいと交流しました！

路線バスに乗って
米子市立図書館へ！



見学後のランチタイム



病院デイケア見学♪



米子市デイケアの
クリスマス会に参加



恒例の茶話会で感想を共有





茶話会「今日の感想」より一部をご紹介します

- 施設見学
全て初めての体験でもっと知らなきゃと思った
- 当事者サポーターの話
好きなものに囲まれて生活できるのがいいと思った。
家計簿等工夫して生活しておられ、マネしたいと思った。
- 図書館へ路線バスで移動
あと5回くらい経験したい。高齢にはレベルが高い？
- 米子市デイケアへの参加
もっと他者（若手等）も来て欲しい。

令和2年度も、開催の際は
ご案内しますので、ご参加
ください♪



地域交流会（いろどり会）

◇参加者の感想（一部）

- ・（ランチ）また食べたい。パンの種類が多くて美味しかった
- ・（デイケア）少しは行ってみたい
利用する事は想像出来なかった
- ・（相談支援事業所の話）退院出来たら使いたい
サービスが沢山あり選ぶのが大変そう
- ・（図書館）無料で利用出来て、気軽に来て下さいと言われた
ので、利用しやすい

地域交流会（いろどり会）

◇地域は楽しいと感じてもらう機会

◇入院者間の交流+入院者と地域支援者の交流・出会いの場

◇退院後の生活の一例を見る事でイメージが出来る

地域支援者訪問

- ◇精神保健福祉士 間の（以前からの顔の見える）繋がり
病院窓口のやり取りしやすい。会えない時のやり取りなど
- ◇（保健師と関わる事で）多角的な視点でみる事が出来る

地域支援者訪問

◇導入期：

生活歴、近況、今後（現在）の希望確認
家族面談（意向、不安、本人へ対する協力など）
いろどり会、こころの広場のご案内 など

◇支援期：

退院へ向けた取り組みの検討、体験談を聞いてもらう
日中活動、住居の見学。病院外での生活をイメージ
相談支援事業所への介入依頼 など

地域支援者訪問

◇定着期（退院後支援）：

自宅・事業所訪問（定期、適宜）

（保健師、相談支援事業所、サービス提供事業所いずれか）

⇒医療機関、相談支援事業所との連携

アパートへ退院された事例

基本情報

◇50代 男性

◇疾患名：統合失調症

◇入院歴：H11.2.6 A精神科病院へ措置入院
H11.3.30 B精神科病院へ転院
H31.1.30 C精神科病院へ転院（B病院閉院につき）

※入院期間は約20年間

H31.4.22 初回面談（顔合わせ）

◇参加者：本人、病院PSW
保健所PHN、米子市PHN・PSW

口数少ない



「(病院に)慣れてきました」
「いつかは退院したい」「働きたいです」
「退院先はまだ何とも・・・」

日付	種別	主な支援内容
H30.7.6	病院訪問	退院に関しての思い等の聴き取り
H30.8.8	病院訪問	退院後の生活に関して相談
H30.10.30	病院訪問	退院後の生活に関して相談
H31.4.22	病院訪問	近況や退院に関しての思い等の聴き取り
R1.5.20	病院訪問	退院後の生活に関して相談
R1.6.28	病院訪問	退院後の生活に関して相談
R1.7.30	病院訪問	退院後の生活に関して相談、いろどり会へのお誘い
R1.8.27	施設見学	Aグループホーム、A作業所「就労継続支援B型」の見学
	病院訪問	見学の振り返りをおこなう
R1.8.30	いろどり会	左記に同行する
R1.9.17	施設見学	B作業所（就労継続支援B型）の見学
R1.9.26	病院訪問	見学の振り返り、退院後の生活に関して相談
R1.9.30	家族面談	現状の共有と家族の意向確認
R1.10.11	物件見学	A不動産会社へ行き物件の見学
R1.10.24	病院訪問	物件見学の振り返りをおこなう
R1.10.25	病院訪問	相談支援事業所（委託相談）との顔合わせ
R1.11.28	病院訪問	退院後の生活に関して相談


 B精神科病院にて

日付	支援種別	主な支援内容
R1.12.25	病院訪問	今後の希望確認。計画相談支援事業所の紹介
R2.1.16	病院訪問	計画相談支援事業所との顔合わせ
R2.2.19	担当者会議	本人を交えて担当者会議
R2.3.4	施設見学	地域生活体験事業の体験室を見学
R2.3.19	見学同行	A不動産のアパート見学
R2.3.25	見学同行	B不動産のアパート見学、家電製品の下見
R2.4.13	見学同行	A不動産のアパート見学
R2.4.15	病院訪問	地域生活体験事業の体験の振り返り。今後に関して相談
R2.5.7	手続き同行	不動産契約、転居手続きなどの同行

R2.3～4月 地域生活体験事業 体験室見学・体験

- ◇対象者：15歳以上の障がいのある方で、
アパートなどの生活を希望する者
- ◇実施主体：鳥取県（各事業所へ委託）
県内5か所（米子市内3か所）

R2.4～5月 アパート生活へ向けて

◇アパート物件の申し込み・契約同行

◇必要準備品の整理・準備、転居手続き同行など

⇒R2.5月 アパートへ退院



鳥取県安心賃貸事業

◇実施主体：鳥取県居住支援協議会

（県・市・一部の町、不動産・福祉関係団体で構成）

◇高齢者、障がい者、外国人、低所得者など

「住宅の確保に配慮を要する方」の住まい支援制度

関わる中での変化

◇退院後のイメージ・希望が具体的になる



◇抽象的な表現が具体的なものになる

◇会話時に笑顔が多くなる

⇒初対面の実習生とも笑顔を交えて会話する場面も！



退院支援の役割と働きかけ

病院（PSW）	共通項目	行政機関
◆<u>本人へ</u> ①本人と地域支援者の繋ぎ役 ②体調や気持ちの確認 ③病棟内の活動、 個別活動の提案と同行 ◆<u>病棟内の他職種へ</u> ①日程と経過の共有 ②面談への同席や 施設見学時の同行の依頼	・ 現在や退院後生活 に関する相談役 ・ 住まい・就労先に関 する情報を提供	◆<u>本人へ</u> ①病院内では言いにくい思いを 表出してもらえるように・・・ 気軽に話してもらえるような 関係を意識 ②相談支援事業所と、出会う タイミングの相談 ⇒ある程度、本人の退院意欲が 出てきたところ？ （相談支援事業所）

退院へ向けての関わり（課題など）

◇退院意欲・状況・家族協力など入院者間で差がある
一歩進んで五歩下がるような事も・・・
粘り強く、地道な関わり

入院者の関わりを通して変化を関係者で共有

今後に関して

◇病棟職員・長期入院者への説明
地域支援者と出会う機会づくり

◇ピアサポーター、映像などを活用
モチベーション維持・向上

◇（病院の感染症対応も踏まえて）
従来のアプローチとは違う方法も検討・取り組み

ご清聴ありがとうございました